



我が国の人文学・社会科学の国際的な研究成果に関するモニタリング指標の調査分析

(研究進捗、2024年01月26日時点)

軽部大 (一橋大学大学院経営管理研究科・イノベーション研究センター)

後藤真 (人間文化研究機構)

小泉周 (自然科学研究機構)

我が国の人文・社会科学の国際的な研究成果に関するモニタリング指標の調査分析

実施体制

国立大学法人一橋大学 軽部大 教授、大学共同利用機関法人人間文化研究機構 後藤真 准教授、大学共同利用機関法人自然科学研究機構 小泉周 特任教授ら
文部科学省研究振興局振興企画課学術企画室

概要・目標

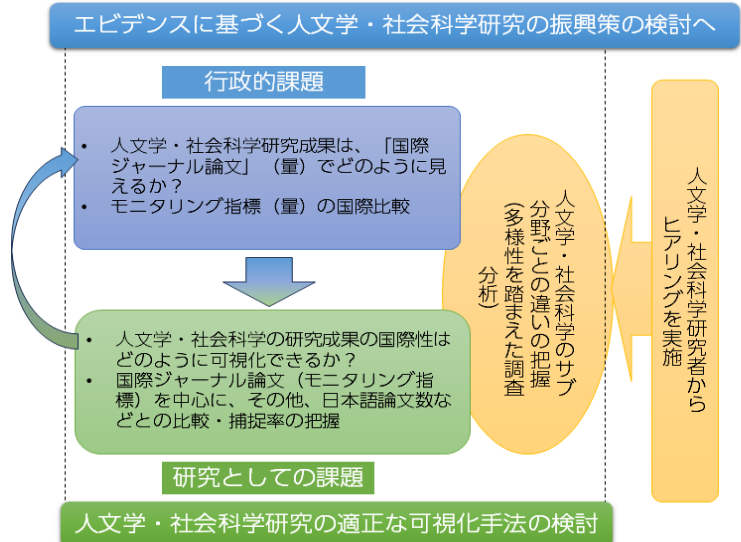
「人文・社会科学研究の国際性の可視化が重要である」という大学・研究現場等と行政の共通認識に基づき、特に国際ジャーナル論文に関する定量的指標構築の可能性についてフィジビリティの検討・調査分析を行う。

政策課題

本プロジェクトの政策課題は、「人文・社会科学研究の国際性」について、いかに適切に可視化し状況を把握するかにある。特に、人社の国際的な研究成果として、モニタリング指標として掲げられている「国際ジャーナル論文数」を主たる対象とし、その指標の定量的把握・計量手法、分析手法等モニタリングの手法のフィジビリティについて検討を行う。

具体的な研究計画

- 数えるべき国際ジャーナルの範囲の限定（「人社学術ジャーナル・リスト」①選別）：人社研究成果として把握すべき、学術ジャーナル誌の全てをリストアップする。
- データ取得・統合（②データ取得、④統合）：国際的なジャーナル等の世界最大のデータベースであるScopus（Elsevier社）を中心とし論文数を把握する。また、補完的に、国内ジャーナル論文群についての把握も実施する。
- 研究者・研究機関の名寄せ（③名寄せ）：KAKENデータベース等を用いて研究者・研究機関の名寄せを行う。
- 定量的カウントの方法検討（⑤カウント）：国際ジャーナル論文発表の定量的な数を、人社全体、また、サブカテゴリーごとに分類して実施する。
- 人社研究者ヒアリングの実施（⑥ヒアリング）：人社研究者に対し、プロジェクトの事前と事後でヒアリングを実施し、人社研究の詳細なカテゴリーごとの違いを把握する。



データベースでの量的調査分析

- SCOPUSのSciValを使って一橋、人間文化機構を中心に、主要国立大学の傾向の分析を開始
 - 大別して約4万誌のスコープス収録雑誌を以下のよう
に大別（スコープス分類カテゴリに依拠）
 - (1) 純粋人文・社会科学
 - (2) 純粋自然科学
 - (3) (1) と (2) の双方を念頭に置いた雑誌
 - (1) 「狭義の人文・社会科学系雑誌」と (3) 「広義の
人文・社会科学系雑誌」に分けて
 - 年別、機関別、分野別、雑誌別、その組み合わせで活動
を把握

聞き取りに基づく定性調査分析

- 国立の研究大学への調査協力を依頼
 - 調査目的：研究分野・領域の多様性を理解する
 - 研究者の社会との関わり（関係性）
 - 研究者のアイデンティティ
 - 研究者の研究環境
 - 研究者の研究業績定義
 - 研究者による研究の質の定義
 - 研究者による国際化（的）活動の定義
 - 35項目＋追加質問（半構造化インタビュー）
 - 約200名の研究者にメールにて依頼
 - 2024年01月26日時点で65名が参加（予定）
 - シニア（退職者）も若手（助教）も含む
 - 60-90分の対面・オンラインによる聞き取り

75科研費分類（小分類）のうち 34分野65名の研究者への半構造化インタビュー

科研費中分類・小分類	インタビュー実施（予定）分野	
文学、言語学およびその関連分野（11）		5
ヨーロッパ文学関連		1
英語学関連		
英文学および英語圏文学関連		
外国語教育関連		1
言語学関連		1
図書館情報学および人文社会情報学関連		
中国文学関連		
日本語学関連		
日本語教育関連		
日本文学関連		1
文学一般関連		1
思想、芸術およびその関連分野（9）		4
デザイン学関連		
科学社会学および科学技術史関連		1
芸術実践論関連		
思想史関連		1
宗教学関連		
中国哲学、印度哲学および仏教学関連		1
哲学および倫理学関連		1
美学および芸術論関連		
美術史関連		
政治学およびその関連分野（4）		3
ジェンダー関連		
国際関係論関連		1
政治学関連		1
地域研究関連		1
法学およびその関連分野（7）		6
基礎法学関連		1
刑事法学関連		1
公法学関連		1
国際法学関連		1
社会法学関連		1
新領域法学関連		1
民事法学関連		
地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野（6）		1
ジェンダー関連		
観光学関連		
人文地理学関連		
地域研究関連		
地理学関連		
文化人類学および民俗学関連		1

科研費中分類・小分類	インタビュー実施（予定）分野	
歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野（7）		3
アジア史およびアフリカ史関連		1
ヨーロッパ史およびアメリカ史関連		
考古学関連		
史学一般関連		
日本史関連		1
博物館学関連		
文化財科学関連		1
教育学およびその関連分野（10）		3
科学教育関連		
外国語教育関連		
教育学関連		
教育工学関連		
教育社会学関連		1
教科教育学および初等中等教育学関連		1
高等教育学関連		
子ども学および保育学関連		1
特別支援教育関連		
日本語教育関連		
社会学およびその関連分野（5）		1
ジェンダー関連		
家政学および生活科学関連		
観光学関連		
社会学関連		1
社会福祉学関連		
心理学およびその関連分野（5）		1
教育心理学関連		
実験心理学関連		1
社会心理学関連		
認知科学関連		
臨床心理学関連		
経済学、経営学およびその関連分野（11）		7
会計学関連		1
観光学関連		
金融およびファイナンス関連		1
経営学関連		1
経済学説および経済思想関連		
経済史関連		
経済政策関連		1
経済統計関連		
公共経済および労働経済関連		1
商学関連		1
理論経済学関連		1
		34

聞き取り調査に基づく「暫定的な」発見事実

- 研究評価に関する意見・考え方は、研究者、研究分野によって大きく異なる
 - 研究分野によって大きく異なる国際化の程度
 - 国内誌が支配し、国際的査読誌への投稿がほとんど行われない分野
 - 国際的査読誌への投稿が当然視され、支配的な分野
 - 書籍の位置づけ
 - 全く考慮されない分野も存在する一方で、採用・昇進に鍵となる分野も存在
 - 言語としての英語
 - ドイツ・フランス語も共存していた時代から英語支配へ
 - 分野を超えた世代間の変化
 - 若手ほど国際的活動に関与